

地域感染レベルによる教育活動の実施について

(令和2年11月現在)

秦荘西小学校

最近、新型コロナウイルス感染症の感染者が増え、滋賀県の指標も「注意ステージ」に変更になりました。このような状況を踏まえ、本校教育活動の中で新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ取組について、説明します。

1. 「地域の感染レベル」とは

滋賀県では「コロナとのつきあい方滋賀プラン」を示し、客観的指標により「滋賀らしい生活三方よしステージ（ステージⅠ）」、「注意ステージ（ステージⅡ）」、「警戒ステージ（ステージⅢ）」、「特別警戒ステージ（ステージⅣ）」の4段階のステージを分け、必要な対策が講じられています。

一方、学校では、滋賀県教育委員会が発表する「地域の感染レベル」という学校の行動基準に基づき、教育活動を進めています。この「地域の感染レベル」は、レベル1からレベル3までの3段階に分けられ、感染状況や医療提供体制等の状況を踏まえて一週間ごとに決定し、滋賀県教育委員会のホームページ上で公表しています。



<滋賀県教育委員会ホームページ>

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない
レベル2	できるだけ2m程度 (最低1m)	リスクの低い活動から 徐々に実施
レベル1	1mを目安に学級内で 最大限の間隔を取ること	十分な感染症対策を 行った上で実施

<地域の感染レベルによる学校の行動基準>

2. 「地域の感染レベル」による出席停止の扱い

レベル1の段階では、児童に発熱等の風邪症状が見られるときは出席停止となります。

レベル2、レベル3に上がった場合、現時点の県の方針では、同居の家族に発熱等の風邪症状が見られるときも出席停止となります。

3. 「地域の感染レベル」による学習活動について

各教科における学習は、マスクの着用や教室の換気、休み時間後の手洗い等の感染対策を行っていますが、「感染症対策を講じてもお、感染リスクの高い学習活動」として、以下のものがあります。これらの活動は「地域の感染レベル」に応じて、実施の可否を決定しています。

- ① 各教科に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」★
 - ② 理科における「児童が近距離で活動する実験や観察」
 - ③ 音楽科における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」★
 - ④ 図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ⑤ 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」★
 - ⑥ 体育科における「児童が密集する運動」★や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」★
- (★はこの中でも特に感染リスクの高いもの)

<地域感染レベル1の場合>

以下の通り、必要な感染対策をとった上で、行うこととします。

- ① の活動 「近距離で一斉に大きな声で話す活動」は行いません。
- ② の活動 マスクの着用を徹底し、行う際には窓を開けて換気を徹底します。
- ③ の活動 行う際には窓を開け、換気を徹底します。その中で、
 - 合唱はマスクをつけたまま、歌うこととします。
 - リコーダー演奏は、活動の前後の手洗いを徹底し、前後の間隔1mを確保します。授業終了後は、机のアルコール消毒を実施します。
 - 鍵盤ハーモニカは、活動の前後の手洗いを徹底し、前後の間隔1mを確保します。使用後は、吹き口やホースを水洗いし、拭き取ってケースにしまえます。
- ④ の活動 マスクの着用を徹底し、行う際には窓を開けて換気を徹底します。
- ⑤ の活動 調理実習を行う場合、マスクの着用を徹底し、活動前後の手洗い及び手指のアルコール消毒を実施します。
- ⑥ の活動 運動により呼吸が苦しくならないようマスクを外して活動しますが、児童同士の距離を1m以上保ちます。また「近距離で組み合う」活動は行いません。

<地域感染レベル2の場合>

- ・上記活動のうち、★印の活動（特に感染リスクの高い活動）は実施を慎重に検討します。

なお、屋内で50名以上が集まる活動（学年集会、学年体育等）は行いません。

<地域感染レベル3の場合>

- ① ～ ⑥までの活動は行いません。